

みなさんおはようございます。

生徒会中央役員から2つ、みなさんに話をさせてもらいたいと思います。

まず1つ目は、今日から三学期がスタートしますが、みなさんはこの3学期をどんなものにしたいですか？（少し間をとって）私は『つながり』をテーマに、この3学期をがんばりたいと思っています。私たち中央役員は、冬休みに瀬戸高校が主催する交流会に参加しました。その交流会には、私たちと同じように各学校の生徒会の人たちが参加していました。その中で、よりよい学校を目指すためには、活動やつながりの輪が学校内だけにとどまらず、地域へと広げることが大切だと学びました。自分たちの学校生活を振り返ってみると、確かにそのつながりは、仲間内だけにとどまらずクラス全体に広がった方がよいものになるし、それはクラスよりも学年、学年よりも学校全体や地域へ広がる方がよいに決まっています。私たち邑久中学校もそうなれるよう3学期も一緒にがんばっていきましょう。また、3年生のみなさんは、これから受験が控えています。3年生のために私たち1・2年生ができることはあまり無いのかもしれませんが、3年生のみなさんが素敵な笑顔で卒業式を迎えられるよう応援しています。

次に2つ目です。先ほどの校長先生の話の中にもありましたが、元日に起こった能登半島地震についてです。お正月気分だった私は、あのニュ

ースを見てビックリするとともに、これが本当に同じ日本で起きていることなのか、うまくのみこめませんでした。でも、テレビの画面が勝手に緊急放送に変わり、その放送の中で「今すぐ逃げてください。あの東日本大震災を思い出してください。命を守るために、今すぐためらわずに逃げてください。」と何度も繰り返し言っているのを聞き、この地震が現実のことと認識すると同時に、とても怖くなりました。(少し間をとる)

当たり前のことですが、被災者の中には私たちと同じ中学生もいます。今日、私たちのように笑顔で友達と会うことができない中学生がいます。避難所となっている中学校では、今日始業式が行われているようですが、今までと同じようにはいきません。(少し間をとる)

この現状を知り、私たちと同じ中学生を含む被災した人たちの助けになるため、邑久中学校生徒会として支援活動を行っていきたいと思います。まずは募金活動を実施します。期間は1月10日から1月15日とします。予定としては、集まったお金は1月17日に山陽新聞本社へ持って行き、山陽新聞社を通じて被災地へ届けられます。

邑久中学校の全員が一丸となって、これからの支援活動を実施できればと思っています。みなさん、ご協力よろしく申し上げます。

ありがとうございました。